

《国語の基礎確認シート3》 漢字の知識・文字の書き方

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

一 (1)から(3)の問いに答えましょう。

(1) 次のアからウの漢字の総画数を書きましょう。

ア 引 イ 印 ウ 孫

(2) 次の説明の()に入る漢字として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、「銅」という漢字のなりたちについて調べました。すると、「へん」に当たる部分の「金」が「金属」という意味を表し、「つくり」に当たる部分の「同」が「どう」という読み方を表していることが分かりました。これと同じなりたちの漢字に()があります。

1 河 2 日 3 下 4 森

(3) 次の例にならって、あとのアからウの漢字に共通して付く部首の名前を書きましょう。

例 (へん) 直・毎・交 ↓ きへん

ア (かんむり) 化 ・ 央 ・ 古

イ (へん) 田 ・ 会 ・ 色

ウ (たれ) 車 ・ 付 ・ 占

二 次のアからウの目的に合わせて、あとの1から3までの筆記具を使い分けます。最もふさわしいものを一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

ア 原稿用紙に作文を下書きするとき

イ プラスチック製のケースに直接、名前を書くとき

ウ 荷物の送り状に住所などを複写するとき

1 油性フェルトペン 2 ボールペン 3 えん筆

三 北野さんは、漢字を書くとき、バランスの取れた文字になるよう気をつけています。

例で示した「賀」は、「下の部分(貝)」よりも「上の部分(加)」をせまくするとバランスが取れます。あとの1から4までの中から、これと同じ漢字を一つ選んで、その記号を書きましょう。

例 賀

1 雪 2 念 3 答 4 照